

令和2年8月26日（水）

第8回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和2年8月26日(水)午後2時
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 倉部 俊治 委員 長谷川浩子
委員 足立 俊弘 委員 蒲田 知子
委員 村松 弘康
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員
教育総務部長 丸 智彦 生涯学習部長兼鳥の博物館長 木下登志子
生涯学習部次長兼公民館長兼生涯学習センター長兼生涯学習課長 菊地 統
総務課長 森田康宏 学校教育課長 鈴木与志実
生涯学習部参事兼文化・スポーツ課長 小林由紀夫
指導課長兼小中一貫推進室長兼少年センター長 戸塚美由紀
教育研究所長 遠藤美香 図書館長 宇賀神 修
6. 欠席事務局職員 な し

午後 2 時 0 0 分開会

○倉部教育長 ただいまから令和 2 年第 8 回定例教育委員会を開会いたします。

会議録署名委員指名

○倉部教育長 日程第 1、我孫子市教育委員会会議規則第 3 1 条の規定により、会議録署名委員を指名します。蒲田委員にお願いします。

議案第 1 号ないし議案第 3 号

○倉部教育長 日程第 2、議案の審査を行います。

議案第 1 号、我孫子市教育委員会後援の取扱いに関する要綱の一部を改正する告示の制定について、議案第 2 号、我孫子市教育委員会行政組織規則の一部改正する規則の制定について、議案第 3 号、我孫子市教育委員会職務権限規程の一部を改正する訓令の制定について、以上 3 議案は、我孫子市後援の取扱いに関する要綱の改正に伴う関連議案となりますので、一括審査といたします。

なお、採決につきましても、後ほど一括採択といたしたいと思います。それでは事務局から説明をお願いします。

○森田総務課長 それでは議案第 1 号、議案第 2 号、議案第 3 号をまとめて一括で説明いたします。これらの 3 議案につきましては、市長部局で所管します我孫子市後援の取扱いに関する要綱の一部改正に関連するものとなっております。

まず議案の説明の前に、市長部局で所管する我孫子市後援の取扱いに関する要綱が今回改正されることとなった経緯につきまして、ご説明します。

市では、市民団体が実施する事業のうち、市の施策の趣旨に合致し、有効性の高い事業につきましては、市との共催あるいは市が後援をするということで事業実施の支援をしてきましたが、この共催と後援の取扱いについて、少し曖

味な運用がなされているという部分がありました。そこで今回、この共催と後援の考え方を改めて整理し、共催については本来市との共催で行うべき事業のみを共催として取り扱うこととしたうえで、後援については「我孫子市後援の取扱いに関する要綱」を「我孫子市後援等の取扱いに関する要綱」に改正しまして、従来の「後援」というものに加えまして、会場の確保の支援などを可能とする「協力」という制度を新たに加えることで、より実態に即した形とするものとなっております。

それでは議案の説明に入ります。まず1ページ、議案第1号、我孫子市教育委員会後援の取扱いに関する要綱の一部を改正する告示の制定についてですが、提案理由につきましては、我孫子市教育委員会後援の取扱いに関する要綱は、我孫子市後援の取扱いに関する要綱に準じていることから、市長部局の要綱見直しに伴う新たな協力制度を設けるため、提案するものとなっております。改正内容につきましては2ページのとおりとなっております。これは先ほど言いましたとおり、市の後援に関する要綱の改正に伴い、併せて改正するものとなっております。タイトルの改正です。

続きまして、議案第2号、我孫子市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定についてです。提案理由につきましては、協力制度の創設に伴い、教育長が専決できる事務に協力制度を加えるため、提案するものとなっております。改正内容につきましては4ページのとおりとなっております。教育長の専決の区分に、これまでは「共催又は後援に関する事」ということになっていましたが、そこに「協力」という言葉が入ることとなります。

続きまして、議案第3号、我孫子市教育委員会職務権限規程の一部を改正する訓令の制定についてです。提案理由につきましては、協力制度の創設に伴い、権限事項について、教育長、部長及び課長が権限を行使する区分に協力制度を加えるため、提案するものとなっております。改正内容につきましては、6ページ

ージ、7ページの別表のとおりとなっております。この別表のうち、従来は「共催・後援申請の承認」という項目でしたが、ここに「協力」という言葉が入ることになります。以上で説明を終わります。

○倉部教育長 以上で説明が終わりました。これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。

イメージとしてお分かりになりますでしょうか。イベントを行う際、会場の確保として、市側が前もって場所を予約することについての規定が、後援なのか共催なのか、どちらになるか曖昧でしたが、場所を予約することだけに特化した「協力」という制度を加えたことにより、規定の明確化を図ることができました。「共催」ですと、人や予算など、いろいろなものを負担し合うという形になりますので、市がもっと関わるのが課題でしたが、それを整理するという意味合いもあると思います。——よろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないものと認めます。議案に対する質疑を打ち切ります。

○倉部教育長 これより採決いたします。

議案第1号、我孫子市教育委員会後援の取扱いに関する要綱の一部を改正する告示の制定について、議案第2号、我孫子市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について、議案第3号、我孫子市教育委員会職務権限規程の一部を改正する訓令の制定について、以上3議案について原案に賛成の委員は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

○倉部教育長 挙手全員と認めます。よって議案第1号、議案第2号及び議案第3号は可決されました。

諸 報 告

○倉部教育長 日程第3、諸報告を議題とします。

まず初めに、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策における学校施設開放と地域交流教室の一部開放について報告をお願いします。

○木下生涯学習部長 学校開放につきましては、7月下旬に利用者の中から新型コロナウイルスの感染者が発生したため、8月末まで利用中止に変更しました。それに伴い、地域交流教室も8月末まで中止としました。8月に入り、我孫子市内でも20名を超える感染者、陽性者が出ているということも鑑みまして、8月24日の新型コロナウイルス感染症対策本部会議の中で、原則2学期中は、体育館、武道場の学校開放並びに地域交流教室の利用を中止することとなりました。

学校の校庭開放については、引き続き、利用できることになっています。

基本的に学校開放は中止ですが、学校活動、それから学校活動に準ずるもの、例えばヤング手賀沼の活動やあびっ子クラブについては、引き続き、利用できることになっていますが、一般の方の利用は、控えていただきます。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止として、他には、毎年1月に開催している新春マラソンの中止が決まりましたので、併せてご報告いたします。以上です。

○倉部教育長 ありがとうございます。ただいまの報告について、何かご意見ご質問等ありますでしょうか。——よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 市長からは、PTA活動も学校活動に準ずるものだから利用してもいいのではないかというお話もあったのですが、むしろPTAの方々のほうが活動を自粛されているようですので、2学期中は利用を中止するという結論になりましたので、よろしくをお願いします。

それでは、ただいまの報告に対して質疑を打ち切ります。

次に、8月21日より新学期がスタートしましたので、登校状況等も含めて状況を報告していただければと思います。

○戸塚指導課長 8月21日より2学期が始まりました。登校日初日、8月21日の出欠状況を確認したところ、新型コロナウイルス感染症が心配だということで欠席した小学校の児童が36名、中学校の生徒が4名、合計40名の生徒がお休みをしていました。翌週、また同じような調査をしたところ、小学校23名、中学校4名、合計27名に減りました。週が明けて、登校2日目からは、通常登校してくる児童生徒が増えてきております。

ただ、連日の厳しい暑さの中、登校してくるので、学校教育課からも各学校へ熱中症対策について事前に連絡等しておりますが、マスクの着脱等についても指導し、十分気をつけるよう対応していただいているところです。

授業が今週から始まりましたが、やはりこの暑さと夏休みの短縮化、授業の進みが心配だったこともありますので、定期的に様子を見ながら、無理のない状態で子どもたちが安全に学校生活を送れるようにしていきたいと思っています。以上です。

○倉部教育長 ありがとうございます。ただいまの報告について、何かご質問、ご意見等ありますでしょうか。——よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ただいまの報告についての質疑を打ち切ります。

次に、事前に配付された事務報告、事務進行予定資料に補足する説明はありますでしょうか。——よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないようですので、これより事務報告に対する質疑に入ります。ご質問があれば挙手をお願いします。事務報告についてはいかがでしょうか。

○蒲田委員 5ページ、ヤング手賀沼のことを少しお尋ねしたいと思います。
建物内の漏電が原因で、今の場所での活動ができず、1学期の終わりは、コホミンを借りたそうですが、場所が変わって3週間ぐらい経ち、子どもたちは、別の場所で勉強したことに関して、どのような思いを持って夏休みを迎えましたか。

○遠藤教育研究所長 ヤング手賀沼の子どもたちは、慣れるまでに時間がかかる子が多いので、場所が変わったことについて、どんなふうに思っているか心配でしたが、意外にも場所が変わることに関して、適応が早く済んでいるという印象です。終わりの会では、最後に作文を発表してもらったのですが、頑張れたこと、頑張れなかったこと、自分のことをすごく見つめられていると感じました。漏電で今までの建物が使えなくなってしまいましたが、建物よりも大事な人は人なのかなと思います。指導員さんや研究所の職員たちが、いかに、子どもたちを見ているよという思いを子どもたちにつけさせてあげるかということが大事だと、この件を通じて、改めて感じたところでした。以上です。

○倉部教育長 ありがとうございます。

○蒲田委員 ありがとうございます。現在、ヤング手賀沼は、さらにコホミンから場所が変わり、湖北台東小学校にある教育研究所の下の階にあるということで、どんな様子なのか教えていただければと思います。

○遠藤教育研究所長 すごく聞いてほしかったことを聞いていただいてありがとうございます。

市長からも言われていたのですが、ヤング手賀沼がまた新しい場所へ移動するので、8月21日始業式の後に、通学のリハーサルを行うため、保護者宛にお手紙を出して通知しました。子どもたちや保護者の方々に声をかけて、湖北駅集合とコホミン集合とで研究所の職員を分けて配置し、皆さんに来てもらいました。実際に「みんなでここに入るよ。こんなふうに入って来るよ」と案内

しました。教育研究所にも行き、「ここは先生がいるところだよ」と紹介し、学校探検をして24日を迎えました。

初めの会ですが、今までにない数のお子さんと保護者の方々が来てくれて、全部で10名の方が参加しました。昨日も10名出席で、先生から「机と椅子が足りないかもしれません」と電話があったくらいで、「もし仮に足りなかったら、教育総務部長と一緒に学校で余っている椅子があれば取りに行きます」と伝えました。今日も見てきたら結構な人数の方が来ていましたので、もしかしたら場所が変わったことによる影響はそれほど大きくないのかもしれないと感じました。3日しか経っていないので、まだまだ分析ができる数字ではないですが、ヤング手賀沼に来ている子どもたちは、教育研究所の職員が関わっていることが多く、保護者の方にとって、ヤング手賀沼が教育研究所の近くにあるということが大きいことなのかもしれないと思いました。今後は、もっと分析をして、3学期はどここの場所にするのか、今後はどこで実施していくのかということを考えていきたいと思っています。以上です。

○倉部教育長 いかがでしょうか。

○蒲田委員 どんなふうに始まったのか、想像がつかなかったものですから、こうやってお聞きすることができて、とても安心しました。またこれからもいろいろな課題があるでしょうし、中学校3年生のお子さんもいれば、小学生もいるので、参加者が増えた分、狭くなった教室での工夫が必要になってくると思います。よろしくお願いします。ありがとうございました。

○倉部教育長 それに関連してもしご意見等があれば。——よろしいですか。

今の話題は、ずっと教育委員会が課題としている内容だと思います。今のヤング手賀沼がこのままでいいのかということは、今までも議論されてきました。これだけ子どもたちの数が増えて、小学生の数も増えてきた時に、あの場所で本当に活動できるのだろうかという課題があります。一時的ではありますが、

結果として、今の場所が使えなくなったということでの工夫をしてもらっています。

幸いなことに、場所が変わっても、人についてきてくれているという、すごく力強い言葉をもらって安心しているところではありますが、ただ人数が増えてきた時に、どうするかという問題があります。今の状況の中だからこそ、次の場所を決めていかなければならない。それにはやはり付け焼き刃ではなく、子どもたちにとって最適な場所はどこなのか、様子を見ながら、教育委員の皆さんと一緒に考えていきたいと思っておりますので、また時々、教育研究所の遠藤所長にご質問を振っていただいて、回答を見ながら検討していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

ほかに事務報告についていかがでしょうか。——よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないようですので、事務報告に対する質疑を打ち切ります。

次に、事務進行予定についてご質問があれば挙手をお願いします。

○蒲田委員 3ページの1番です。今までは「作品展」だったのですが、今回は「科学作品展示会」になっていて、内容の違いなどを教えてください。

○戸塚指導課長 お答えします。昨年度までは「科学作品展」としまして、各学校から決められた数の論文や作品等を提出していただき、賞をつけていました。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取らなくてはならない状況の中で、作品展をどのように開催しようか検討し、その中で、小学校低学年から中学校までずっと同じテーマで取り組んでいる子や休校中の4月時点で既にこの科学作品展に向けて研究を始めているという子がいるという話が私たちの耳にも入っていましたので、どうにか発表できる場を作れないかと話し合いました。

今年は夏休みも短いので、すべての子どもたちが自由研究を行うのは難しい

ですが、今まで長年研究してきた子や既に4月から取り組んでいる子たちのために、賞はつけないものの、頑張ったものを発表できる場を作ろうと展示会を開くことになりました。作品数は少ないとは思いますが、各学校から上がってきた作品を展示して、市民の皆さんや保護者の方に見ていただく機会を作ることになりましたので、「展示会」というような表現をさせていただきました。以上です。

○蒲田委員 分かりました。一生懸命作って取り組んできた子どもたちにとっては、とても嬉しいことだと思います。ありがとうございます。

○倉部教育長 今年早々と県でも県展の中止を発表していましたし、そういう理由で賞はないですが、展示会を開くというところでご理解いただければと思います。よろしくお願いします。ほかにいかがでしょうか。

それでは私から、7ページの「2 運動会で早く走れる！未来のオリンピック走り方教室について」、冊子も含めてご紹介いただければと思います。

○菊地生涯学習課長 この企画は今年度の東京オリンピック・パラリンピックに合わせて年度当初に行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となり、9月26日、手賀沼公園の芝生広場において、十種競技の日本チャンピオンに輝いた武井壮さんを指導した中央学院大学の小林教授を講師にお呼びして、走り方教室を開催することになりました。対象となる方は、市内の小学4年生から6年生の50人です。屋外ですので、ソーシャルディスタンスをしっかりと取り、最大限に配慮した上で開催したいと考えております。また、もし延期になった場合も、来年度、またこのような企画を立てたいと思っています。

○倉部教育長 ありがとうございます。今年限りではなく、次につなげてもらいたいと思いますので、よろしくお願いします。

事務進行予定についてほかにいかがでしょうか。——よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。

次に、教育事業全般について御質問あるいは御意見等あればお願いいたします。——特によろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○倉部教育長 ないものと認めます。以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。

○倉部教育長 以上で令和2年第8回定例教育委員会を終了いたします。お疲れさまでした。

午後2時26分閉会